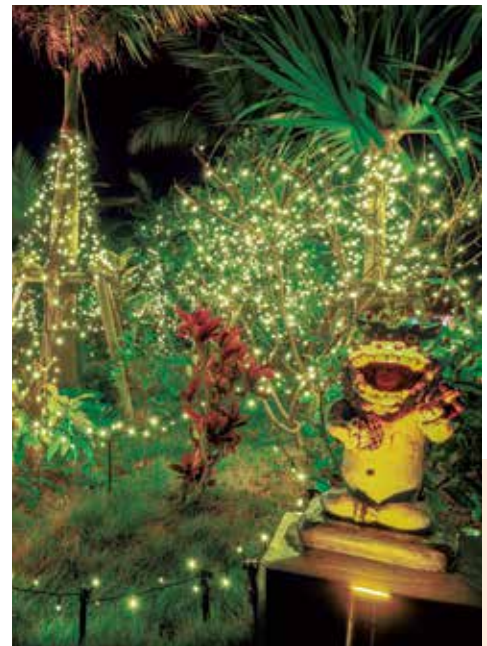


ご覧になれます。

2018 **12** No.531

- 1 **くがにくとぅば[黄金言葉] vol.177**
不幸な犬、猫を生まない社会をつくる
オム・ファム株式会社 代表取締役社長 中村 毅
- 6 **地域リレーションシップ情報 170**
沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について
「知財のミカタ～巡回特許庁 in 那覇～」
の開催について
- 8 **けいざい風水**
- 10 **おきぎんカトレアクラブ通信**
- 12 **県内景況・確報**
2018年4-9月期の県内景況
- 20 **国内景気動向**
- 22 **沖縄マーケティング情報**
①沖縄県内の事業所数・従業者数・人口・世帯数
②世界の中の沖縄(年次)
③グラフでみる沖縄経済
④数値でみる沖縄県・全国の経済動向(月次)
- 42 **経済社会のできごと(沖縄、国内・海外)**
2018年10月
- 44 **各種セミナー等開催インフォメーション**



表紙写真/シーサーとイルミネーション

不幸な犬、猫を生まない社会をつくる

うちのこ一番
PET BOX
GROUP

オム・ファム株式会社

代表取締役社長 中村 毅



今回は、県内初のペット専門店であり、犬、猫、小動物、熱帯魚などの生体、用品販売の総合デパートとして、北谷、那覇で「PET BOX」グループ3店舗を展開している、オム・ファム株式会社の中村 毅 代表取締役社長にペット業界の動向や、独自の経営ビジョンなどについてお話を伺って参りました。

ペットブームの到来を予感

私が31歳の時にこの北谷で「PET BOX」をオープンしました。「普通の経営者ではなく、何かインパクトのある、沖縄にはないビジネスをやりたい」と、いろいろ模索していました。当時は第二次ボウリングブームが到来していた時期で、名護市の大学のそばにボウリング場を建設してボウリング場を核にショッピングモールをつくる構想を真剣に検討しましたが、ハードルが高く諦めました。

その後、たまたま、県内のホームセンターへPOSシステムの立ち上げで東京から応援で派遣された時に、ペットショップ売場が拡張し始めたことに気付き、ペットブームの到来を予感してマーケットがあるのはここだと確信し、県内初のペット専門店の創業に至りました。

現在、北谷、那覇で「PET BOX」グループ3店舗を展開しています。犬、猫、小動物、熱帯魚などの生体、用品をご提供し、アイテム数は8,000にも上り、知識、技術も含めてペットの総合デパートです。また、ペットホテル、トリミングのサービス、病院向けの水槽メンテナンス事業も充実しています。



▲PET BOX 北谷店

▲PET BOX アニマル
ステーション那覇

▲オキナワビアンコ

沖縄ペット市場の活性化の火つけ役

設立した23年前に遡ると、ペットの飼育環境は質素でシーツは新聞紙でした。そこで、当社は県内では当時ほとんど販売実績がなかったペットシーツやプレミアムフードを先駆けて仕入れ、沖縄ペット市場の活性化の火つけ役となりました。最近では、犬、猫も人間と同じように高齢化が進み、紙おむつや、高齢ペット用フード、歩行補助器具などの高齢ペット用品やサービスが増えてきています。

飼育頭数では犬が年々減る一方で、猫が増えており、以前は犬用フードのテレビCMが多かったのですが、今は猫のCMが増えていきます。猫は犬と比べて小食であることから、マーケット戦略も変わってきています。犬の頭数が減少している背景には、単身世帯の増加、また、高齢化に伴い、散歩が必要のない猫に人気が集まっているという分析もあります。

アクアに関しては趣味の世界であり、経済的事情や、沖縄では台風等の停電で水槽管理が難しいこともあって、需要はなかなか伸びていません。

ペット業界についての世間の見方は、2013年の動物愛護法改正あたりから、がらっと変わりました。昔はペットショップに行けば家族が幸せになれる、喜ばれるイメージが強かったのですが、「ペットショップが犬、猫を売ることで、ペットの殺処分が増えている」と、ペットショップに対する誤解や偏見が年々強くなりました。

殺処分数 全国的には依然ワースト上位

環境省の発表では、2017年度の沖縄県内の犬猫の殺処分数は1,171匹で、2012年度の6,089匹から大幅に減少しています。しかし、全国的には依然ワースト上位で、2017年度は全国9番目に殺処分数が多い県となっています。

当社では、犬や猫の殺処分ゼロを目指して、県内最大級のペットイベント「ペットカーニバル in 沖縄」を沖縄コンベンションセンターにて開催し、そして「ペトリボン基金」を始めました。

当社のように動物愛護に関する啓発、啓蒙活動を行っているペットショップは日本全国でもほとんどありません。当社は、殺処分から命を救うことで、飼える犬や猫が増え、マーケットチャンスが伸びるという逆の発想で活動しています。

県内最大級のペットイベント「ペットカーニバル in 沖縄」

2016年より、「ペットカーニバル in 沖縄」を開催しています。県内外のペット関係の企業約30社が出展し、フードや商品、サンプルも用意しています。犬、猫だけでなくアクアリウムなどの出展も有り、幅広い動物好きの方々に楽しんでいただいています。開催2日間で約7,000名もの来場があります。今年も12月の8日・9日に沖縄コンベンションセンターで開催します。

カーニバルでは、犬、猫の生体販売は一切致しません。「不幸な犬、猫を生まない社会をつくろう」という私の理念でスタートさせたもので、目的は、「犬・猫の殺処分をゼロにする」の一点です。カーニバルは「命の大切さ」を知っていただく啓発・啓蒙活動であり、講演会やシンポジウムも開催します。



レジで「ピッ」と20円募金

店頭レジで会計時に、商品と一緒にバーコード付きカードを提示するだけで、動物愛護団体や



支援団体に寄付し、身寄りの無い犬、猫の支援などに20円募金できる『レジで「ピッ」と20円募金』を2017年より始めました。この募金のシステムは、私が以前、POSシステム業務に携わっていた経験を活かしたものであり、ロゴマークも含め当社独自の基金システムです。

現在、この活動に参加してくださる加盟店を募集しています。将来的には、このロゴマークとバーコードをペットフードメーカーさんの商品に印字してもらうなどしてオープンに利用していたら、全国に普及できたらと考え、活動中です。



とことん人を大切にする会社

当社の経営理念は、「いい会社をつくりましょう」です。その本質は「とことん人を大切にする会社」です。会社で一番大切な人とは、まず社員であり、①「社員の幸せ」（社員と社員を支える家族の「幸せ」を追求する）、②「お客様の幸せ」（お客様に喜ばれ「ありがとう」と感謝される）、③「社会の幸せ」（会社の発展性と安定性の追求）が、うまくハッピーにスパイラルすることだと考えます。

経営ビジョンは、「ペット業界で一番働きたい

会社を創る！」ことです。

その経営戦略として、1. 教育性（社員1人1人が知恵を出す組織）、2. 収益性（しっかり教育から出た利益を残して給与に還元する）、3. 社会性（高い賃金を払うことは雇用を守ることです。高い利益を上げることは、付加価値の高いことです。高い利益、高い賃金が払える人づくりを通して、社会貢献活動のできる会社づくりをしていきます）を掲げています。



- ### オム・ファム9のコア・バリュー
- コア・バリューとはオム・ファムで働く上での基本的な価値観「行動規範」
- 1、☆■お客様をハッピーにする事が、私たちの存在意義です。
お客様との会話を楽しんで、オム・ファムのファンになる瞬間を作る！
 - 2、◆変化を受け入れ、自らその原動力となれ
時代の先手を打つためには、常に変化している会社でなくてはならない。
 - 3、●ユーモアと面白い物を創造するチャレンジャーであれ
豊かな未来のためにチャレンジし続けよう。失敗を恐れず個性を発揮できる「達人」であれ！
 - 4、◆「学ぶ楽しさ」と「成長」を追求せよ
志事を通じて「学ぶ楽しさ」を知り、「成長したい」と思えば会社の成長にもつながる。
 - 5、◎チーム・家族精神を育てよ
「同僚を越え家族となる」家族はどんな問題も協力して越えられる。
WISHEZ（ウィッシュイズ）精神を高めよう！
「ウィッシュイズ」とは願い事。仲間同士で願い事を叶え合うというものです。
 - 6、●情熱と強い意志を持って
どんな困難も前向きに取り組めば乗り越えられる壁はない！
 - 7、◎「基本の徹底」を徹底しよう
「基本の徹底」を一人一人が理解し、感じのいいお店をお客様に提供する。
 - 8、◎謙虚であれ
自らがしてほしいことを他人にも行い、すべての人を尊重する。
 - 9、●逆算から始めよう
ゴールを決めスピードを意識し常に「行動と結果」にこだわる。
- 5つの基本要素
 ☆顧客に対する姿勢 ◎従業員に対する姿勢
 ●仕事に対する姿勢 ◆革新と変化に対する姿勢
 ■事業戦略的要素

常に自分の目を持つ

当社は現在、台湾のペットショップとパートナーシップを組み、海外展開にも取り組んでいますが、私自身の未来ビジョンとしては、そんなに大きなものではありません。

私はあと5年で60歳になります。創業して30年にもなれば、次のステージとして社会貢献をしたい気持ちが強くなってきています。

そこで、中小企業の人材採用・育成のコンサルタントや学生の就職支援活動を行うコンサルまで出来たら、私は恩返しができると考えています。特に人材育成、組織のマネジメントでは、私自身が悩んだ時期がありましたので、苦しみやその経験を存分に活かせることができます。

私の座右の銘は、「常に自分の目を持つ」です。常に自分の目を持たないと、方向が振れ、自分は何を目指しているのか、成し遂げたいのかが決まらず、悩み、葛藤します。

私は20代に志を打ち立て、31歳の時に起業しました。その経験をペットの分野に限らず、特に若い学生さんや経営者に伝えることが出来たら幸いです。



▲経営サポート「中村塾」の様子
問い合わせ 098-989-0090 担当:山城

コア・バリュー経営

当社では、経営理念、経営ビジョンの下、9つの「コア・バリュー（会社の中核となる価値観）」があり、「コア・バリュー」をアルバイトを含むスタッフ全員に浸透させ、認識→行動→習慣化→体得→応用→創造へと体現できる組織作りに取り組んでいます。

採用・教育・評価・意思決定も全て、この「コア・バリュー」に基づいており、当社の強みはこうした企業文化だと思えます。



▲全スタッフに配布「経営計画書」



▲7つのプロジェクト

コンセプトは「大人が恋するビアンコ」
極上の癒しがここにあります



水槽メンテナンス事業も行っておりますお気軽
にお問い合わせください



お取り扱い店
舗大募集！



観光客に
大人気！

お問い合わせ：098-989-0090

けいざい風水

サッカーと沖縄経済 経済効果生むキャンプ

今月は、2018年サッカーワールドカップロシア大会が開催されることから、県民の皆さまの中でも楽しみにしている方が多くいらっしゃると思います。

沖縄県のサッカー選手登録人数は1万3,986人で、全国(91万5,306人)の約1.53%(23位)となっており、まだまだ発展途上と言えます。

その一方で、県の「芝人(しばんちゅ)養成事業」などにより受入環境の改善等が進んだことなどから、17年度は国内外から24ものプロサッカーチームなどがプレシーズンキャンプに本県を訪れており、サッカーファンにとってはトップ選手のプレーを間近で見ることができる貴重な機会となっています。

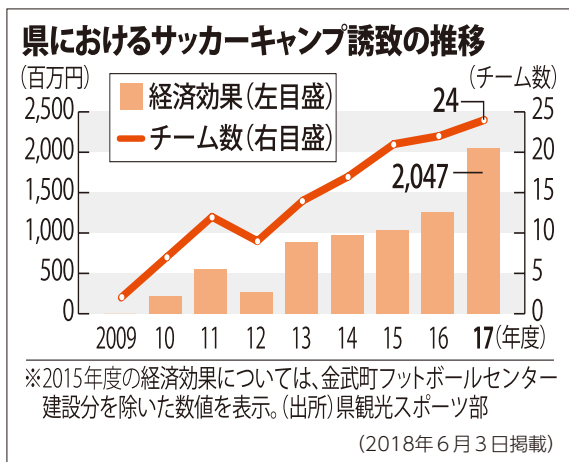
観光オフシーズンである冬期に県外・国外から多くのサポーターなどが来県するため、その波及効果は大きく、17年度のサッカーキャンプ誘致の経済効果は20億円以上にものぼるとされています。

こうした沖縄サッカー界の盛り上がりの中で、男子チームではFC琉球がJ3において、昨シーズン6位の成績を収めJ2昇格を目前としているほか、女子チームではヴィクサーレ沖縄FCナヴィータが「なでしこリーグ」参入を目指し活動しています。

これまで沖縄県はボクシング、ゴルフなど世界で活躍する選手を輩出してきました。世界でも人気のあるサッカーを通じて「沖縄」を発信することにより大きな経済効果が見込まれることは言うに及ばません。

ワールドカップは、県内クラブチームにも興味を持ち、応援する良い機会ではないでしょうか？

(沖縄銀行 石川支店長 上地 文人)



観光客の消費額 キャッシュレス化推進を

沖縄県の2017年(暦年)入域観光客数がハワイを超える939万人を記録しました。しかし一方で、平均滞在日数は沖縄が3.78日(16年度)でハワイは8.95日(17年)、平均消費額では沖縄が約7.5万円(16年度)でハワイは約1,787ドル(17年)となっており、いずれも沖縄はハワイの半分以下となっています。

この背景にはクレジットカードや電子マネーなど、キャッシュレス決済のインフラが整っていないことが要因の一つといわれています。

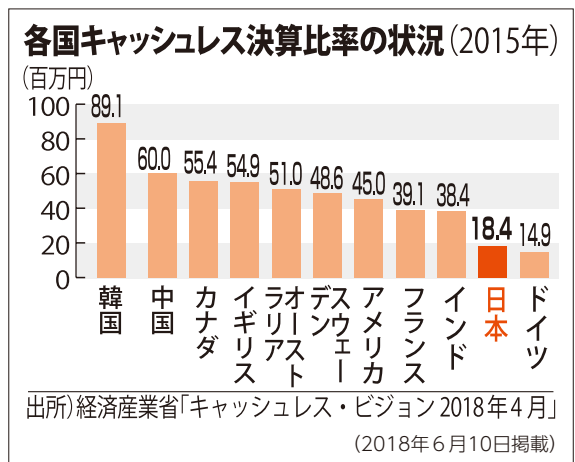
近隣諸国のキャッシュレス決済比率は、韓国89.1%、中国60.0%であるのに対し、日本は18.4%と著しく低い状況です。

そのような状況下、「日本再興戦略2016」では20年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けてキャッシュレス化を推進することが示されたほか、「未来投資戦略2017」のKPI(評価指標)では27年6月までにキャッシュレス化決済比率を現在の2割程度から4割程度を目指すとしています。

県内では、今年4月に県内金融機関と専門企業が連携して「沖縄決済コンソーシアム」を設立し、沖縄県独自のキャッシュレス化に取り組む事が発表されたほか、県や沖縄観光コンベンションビューローもキャッシュレスセミナーを開催しています。

今後、オリンピックなどのイベントを控えていることなどを踏まえ、観光収入増加に向けて企業や個人事業主、そして県民も含め沖縄全体でキャッシュレス化に積極的に取り組む必要があります。

(沖縄銀行 嘉手納支店長 大城 晃)



西海岸道路開通の効果 渋滞緩和、多方面へ波及

今年3月に臨港道路浦添線（浦添市西洲―同市港川2.5km）と浦添北道路（浦添市港川―宜野湾市宇地泊2.0km）が開通しました。西海岸道路開通はどのような効果をもたらすのでしょうか？

道路開通の背景としては、本県の主要幹線道路である国道58号の慢性的な交通渋滞が挙げられます。

浦添市、宜野湾市の開発進展により大型商業施設などの集積や人口増加が進み、通勤通学や買い物などの「日常生活交通」が増加したことが要因の一つとされています。

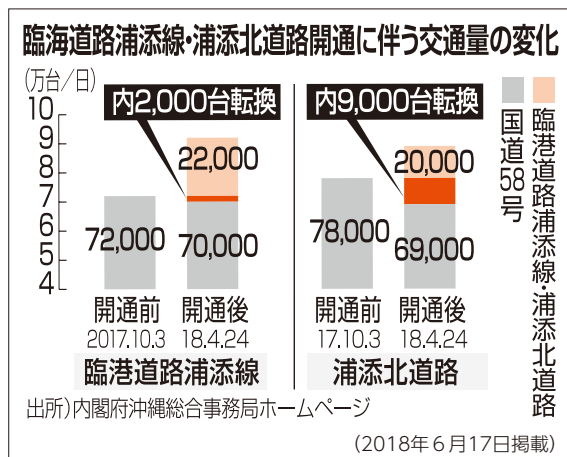
また、「観光客増加」に伴い那覇空港、那覇港からの人流が増加しているほか、「物流関連の交通」が集中する地域でもあることなどから、慢性的な渋滞が発生していました。その緩和策が西海岸道路の開通です。

内閣府沖縄総合事務局が発表した開通1ヵ月後の交通状況によると、臨港道路浦添線においては、1日当たりの交通量が2万2千台となっており、2千台が国道58号から転換されているとのこと。

また、浦添北道路の1日当たりの交通量は2万台となっており、9千台が国道58号から転換されている結果となっています。

さらに、西海岸道路の開通は、国道58号の渋滞に伴う「生活道路への交通増加（渋滞回避の抜け道）の解消」にもつながることが期待されます。ほかにも、公共交通の「定時性の向上」や「歩行者との交通事故の危険性の除去」、「迅速な救急活動」など地域交通安全の向上も期待されています。

（沖縄銀行 安慶名支店長 大城 直昭）



県民の貯蓄意識 制度を賢く役立てて

ソニー生命調べ「47都道府県別生活意識調査2018（マネー・旅行編）」において、沖縄県民の生活意識で上位となる項目がありました。

「自分は浪費家だと思う」1位、「メリハリ消費（お金をかけるものとかけないものを決めている）」1位、「健康にお金をかけたい」1位、「自己投資にお金をかけたい」1位、「貯蓄額の目標を設定している」3位などがありました。どうやら貯蓄への意識は高いものの、お金を使ってしまう県民性なのでしょうか。

15年度県民経済計算によると、沖縄県の1人当たり県民所得は216万6千円であり、1人当たり国民所得（305万9千円）と大きく差があります。また、総務省の家計調査（17年度）では、貯蓄から負債を差し引いた純貯蓄額（2人以上の世帯）の全国平均は1,295万円となっていますが、沖縄県の純貯蓄額は467万円と、全国平均の半分以下にとどまっています。

銀行が取り扱う貯蓄の一助となる金融商品として「積立定期預金」、「財産形成貯蓄預金」がありますが、新たな金融商品である「NISA」「ジュニアNISA」「積立NISA」「確定拠出年金」などは、安定的な資産形成の支援や経済成長に必要な資金の供給等を目的に、個人の投資を促進する制度として導入されています。

「貯蓄額の目標を設定している」沖縄県民の皆さま、せっかくある制度を生かさない手はありません。

仕組みや特徴を理解し、貯蓄に賢く役立ててみてはいかがでしょうか。

（沖縄銀行 古波蔵支店長 大瀧 義喜）

